



2019年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年5月9日

上場取引所 東

上場会社名 昭光通商株式会社
 コード番号 8090 URL <https://www.shoko.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 稲泉 淳一
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 中野 知久 TEL 03-3459-5111
 四半期報告書提出予定日 2019年5月15日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期第1四半期の連結業績（2019年1月1日～2019年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第1四半期	31,953	△0.9	792	28.2	889	36.2	822	126.3
2018年12月期第1四半期	32,255	4.6	618	0.7	653	△8.4	363	△43.1

(注) 包括利益 2019年12月期第1四半期 901百万円 (171.4%) 2018年12月期第1四半期 332百万円 (△58.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第1四半期	75.14	—
2018年12月期第1四半期	33.20	—

2018年7月1日付で普通株式につき10株を1株とする株式併合を行いました。1株当たり四半期純利益は、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、株式併合後の株式数を基に算出しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年12月期第1四半期	59,083	9,779	16.1	869.11
2018年12月期	60,979	8,878	14.2	789.04

(参考) 自己資本 2019年12月期第1四半期 9,508百万円 2018年12月期 8,632百万円

2018年7月1日付で普通株式につき10株を1株とする株式併合を行いました。1株当たり純資産は、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、株式併合後の株式数を基に算出しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2019年12月期	—	—	—	—	—
2019年12月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2019年12月期の連結業績予想（2019年1月1日～2019年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	131,000	0.4	2,100	11.6	2,100	1.9	1,700	11.3	155.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年12月期 1 Q	11,271,468株	2018年12月期	11,271,468株
② 期末自己株式数	2019年12月期 1 Q	331,127株	2018年12月期	331,033株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年12月期 1 Q	10,940,438株	2018年12月期 1 Q	10,941,176株

2018年7月1日付で普通株式につき10株を1株とする株式併合を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、〔添付資料〕3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費は堅調に推移しましたが、中国向けを中心に外需が落ち込んだため鉱工業生産が弱含みとなり、景気回復は足踏みした状況で推移いたしました。

当社グループでは、2019年を初年度とする3カ年の中期経営計画を策定し、将来の持続的成長を実現するための基盤整備のステージと位置づけ、「リスク管理の更なる強化」「復配の実現」「構造改革の完遂」を重点課題とし、様々な諸施策を実行してまいります。

このような状況の中、当第1四半期連結累計期間の当社グループ事業におきましては、外需の落ち込みとそれに伴う在庫調整を背景に主要商材の需要が減少し、売上高は前年同期を下回りましたが、一部商材の仕入価格の下落等の影響で営業利益や経常利益は前年同期を上回りました。また、投資有価証券の売却益を特別利益に計上したこと等により、親会社株主に帰属する四半期純利益も前年同期を上回りました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は319億53百万円（前年同期比0.9%減）、営業利益は7億92百万円（前年同期比28.2%増）、経常利益は8億89百万円（前年同期比36.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は8億22百万円（前年同期比126.3%増）となりました。

セグメント別の経営成績は以下のとおりであります。

(化学品セグメント)

化学品部門につきましては、化学品関連は、一部商材の販売が減少したため、減収となりました。

科学システム関連は、前年に一部輸入商材の販売を取り止めたため、減収となりました。

以上の結果、売上高は89億68百万円（前年同期比0.8%減）、営業利益は2億24百万円（前年同期比5.6%増）となりました。

(合成樹脂セグメント)

合成樹脂部門につきましては、国内取引では、主要顧客の在庫調整により出荷が減少し、減収となりました。

また、貿易取引では、輸入原料の国内販売は減少しましたが、輸取出引が順調に推移し、増収となりました。

以上の結果、売上高は86億11百万円（前年同期比0.8%減）、営業利益は1億56百万円（前年同期は営業損失7百万円）となりました。

(金属セグメント)

金属部門につきましては、軽金属関連は、前年好調であった圧延品や軽圧品は、在庫調整等により出荷が減少し、減収となりました。

無機材料関連は、耐火材・研削材が在庫調整で販売は減少しましたが、黒鉛電極の大幅な市況上昇により、増収となりました。

以上の結果、売上高は95億66百万円（前年同期比1.2%増）、営業利益は2億52百万円（前年同期比0.7%増）となりました。

(生活環境・アグリセグメント)

生活環境・アグリ部門につきましては、住宅建材関連は、東京オリンピックや再開発関連の大型案件の受注で、管材および新規開発商材等の販売が好調で、増収となりました。

エレクトロニクス関連は、一部商材を化学品および合成樹脂セグメントにそれぞれ移管したため減収となりました。

肥料農材関連は、主力の肥料の販売は減少しましたが、農業資材の大口案件の受注により増収となりました。

以上の結果、売上高は38億85百万円（前年同期比1.0%減）、営業利益は1億37百万円（前年同期比7.4%増）となりました。

(海外その他セグメント)

海外その他部門につきましては、連結子会社のShoko (Thailand) Co., Ltd. におきまして、合成樹脂の出荷やアルミ二次合金の貿易取引の減少のため減収となりました。

以上の結果、売上高は9億20百万円（前年同期比20.2%減）、営業利益は22百万円（前年同期比40.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産は、590億83百万円（前連結会計年度末比3.1%減）となりました。主な要因は、「現金及び預金」の減少であります。

負債は、493億4百万円（前連結会計年度末比5.4%減）となりました。主な要因は、「1年内返済予定の長期借入金」の減少であります。

純資産は、97億79百万円（前連結会計年度末比10.1%増）となりました。主な要因は、「親会社株主に帰属する四半期純利益」の計上による「利益剰余金」の増加であります。

この結果、自己資本比率は1.9ポイント上昇して16.1%になりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年12月期の連結業績予想につきましては、2019年2月14日に公表しました「2018年12月期 決算短信」に記載の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,269	3,808
受取手形及び売掛金	32,845	32,779
電子記録債権	5,905	6,333
商品及び製品	4,794	4,660
販売用不動産	12	12
仕掛品	102	115
原材料及び貯蔵品	513	478
その他	987	753
貸倒引当金	△491	△381
流動資産合計	49,939	48,561
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,499	1,480
機械装置及び運搬具(純額)	543	544
土地	4,900	4,900
その他(純額)	95	87
有形固定資産合計	7,039	7,013
無形固定資産		
のれん	0	7
その他	154	152
無形固定資産合計	155	160
投資その他の資産		
投資有価証券	2,670	2,101
繰延税金資産	341	407
長期未収入金	7,993	8,163
その他	854	854
貸倒引当金	△8,014	△8,178
投資その他の資産合計	3,844	3,348
固定資産合計	11,039	10,522
資産合計	60,979	59,083

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	26,942	26,094
電子記録債務	4,212	4,030
短期借入金	600	600
1年内返済予定の長期借入金	1,000	—
未払法人税等	185	254
賞与引当金	155	367
その他	2,517	1,410
流動負債合計	35,614	32,757
固定負債		
長期借入金	14,000	14,000
退職給付に係る負債	1,112	1,122
その他	1,373	1,424
固定負債合計	16,486	16,547
負債合計	52,100	49,304
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,021	8,021
資本剰余金	0	0
利益剰余金	△787	34
自己株式	△482	△482
株主資本合計	6,752	7,574
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	129	151
繰延ヘッジ損益	△4	0
土地再評価差額金	902	902
為替換算調整勘定	1,003	1,020
退職給付に係る調整累計額	△149	△140
その他の包括利益累計額合計	1,880	1,933
非支配株主持分	246	270
純資産合計	8,878	9,779
負債純資産合計	60,979	59,083

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)
売上高	32,255	31,953
売上原価	29,787	29,332
売上総利益	2,468	2,620
販売費及び一般管理費	1,849	1,827
営業利益	618	792
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	10	9
持分法による投資利益	13	50
還付消費税等	33	61
雑収入	11	18
営業外収益合計	71	141
営業外費用		
支払利息	27	36
為替差損	6	—
雑損失	3	8
営業外費用合計	37	45
経常利益	653	889
特別利益		
投資有価証券売却益	—	112
その他	—	0
特別利益合計	—	112
特別損失		
固定資産除却損	—	10
特別損失合計	—	10
税金等調整前四半期純利益	653	992
法人税、住民税及び事業税	220	255
過年度法人税等	△84	—
法人税等調整額	126	△107
法人税等合計	262	148
四半期純利益	390	843
非支配株主に帰属する四半期純利益	27	21
親会社株主に帰属する四半期純利益	363	822

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)
四半期純利益	390	843
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△39	26
繰延ヘッジ損益	△0	5
為替換算調整勘定	△20	17
持分法適用会社に対する持分相当額	△7	0
退職給付に係る調整額	9	9
その他の包括利益合計	△58	57
四半期包括利益	332	901
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	309	877
非支配株主に係る四半期包括利益	23	24

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	化学品	合成樹脂	金属	生活環境 ・アグリ	海外 その他	合計		
売上高								
外部顧客への売上高	9,040	8,679	9,457	3,925	1,153	32,255	—	32,255
セグメント間の内部売上高又は振替高	11	18	101	104	187	422	△422	—
計	9,051	8,698	9,558	4,029	1,340	32,678	△422	32,255
セグメント利益 又は損失(△) (営業利益)	212	△7	251	127	37	620	△1	618

(注) セグメント利益の調整額△1百万円は、主にセグメント間取引消去であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	化学品	合成樹脂	金属	生活環境 ・アグリ	海外 その他	合計		
売上高								
外部顧客への売上高	8,968	8,611	9,566	3,885	920	31,953	—	31,953
セグメント間の内部売上高又は振替高	16	33	67	58	63	238	△238	—
計	8,985	8,644	9,633	3,944	984	32,191	△238	31,953
セグメント利益 (営業利益)	224	156	252	137	22	792	△0	792

(注) セグメント利益の調整額△0百万円は、主にセグメント間取引消去であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。